

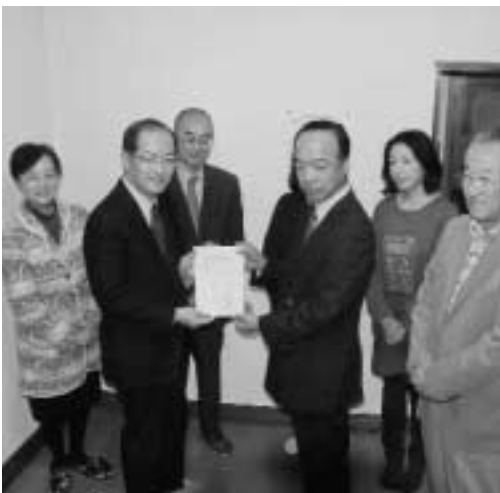
生きた土が豊かな川と海を生む  
農業と漁業の共同宣言調印式



11月25日、津別町中央公民館で、津別町農業協同組合（山下邦昭組合長）と網走漁業協同組合（山田邦雄組合長）、西網走漁業協同組合（大高隆吉組合長）の3組合による「網走流域での農業と漁業の持続的発展に向けた共同宣言」を行い、調印式並びに共同宣言記念フォーラムが開催されました。共同宣言は「山と川と海のつながりの中で、自然と共存した持続可能な産業を目指す」「網走川流域の土と水を守り、より美味しく安全安心な食料生産に努める」「網走川の自然環境を保全・改善し、次の世代に引き継ぐ」など4項目を宣言し、調印が行われました。

津別町手をつなぐ育成会  
NPO法人の認証を取得

11月5日、みずほ福祉助成財団の梶田久敬理事より津別町手をつなぐ育成会（新鞍忠信理事長）へ社会福祉助成金100万円の贈呈式が行われました。また、11月17日に道からNPO法人の認証を取得し、新鞍忠信理事長、白鳥幸副理事長、篠原眞稚子理事の3人が津別町役場保健福祉課を訪れ、今後の活動方針と町への支援協力を願いました。法人としての活動は今年の4月から始まり、1条通りにある「育成会の家」を拠点に、障がい児を預かる「日中一次支援事業」や手作りパンの製造販売に取り組んでいます。



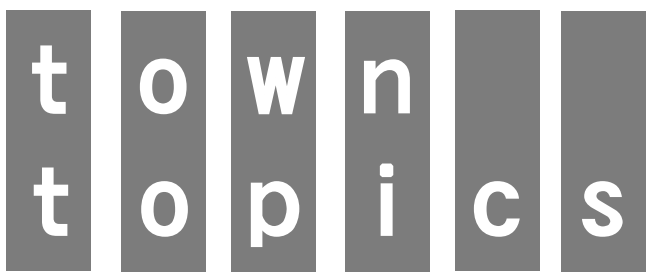
11月21日、第29回町民文化祭・舞台発表（津別町文化協会・田中四郎会長）が中央公民館ホールで開催されました。今年も、第34回道民芸術祭、第41回網走管内郷土芸術祭を兼ねて開催され、北見、留辺蘂、美幌、端野、置戸、訓子府の6文化連盟の参加がありました。

舞台発表は、津別中学校吹奏楽部の吹奏楽で始まり、舞踊、詩舞、民謡、三味線、詩吟、歌謡曲、フラダンス、大正琴、合唱、太鼓、ダンスなど、総勢290人が日頃の練習の成果を披露し、満員で埋められた会場は、大きな拍手や声援が送られていました。

日頃の練習の成果を  
第29回町民文化祭・舞台発表



まちのわだい



誰もが安心安全な暮らしのために  
認知症を考える講演会開催

11月22日、津別町林業研修会館で誰もが安心して暮らせる町を目指す「認知症を考える講演会」（主催・津別町地域包括支援センター）が行われました。

高齢化率が高い津別町では認知症の関心が高く、多くの町民をはじめ、近隣市町村からも参加がありました。

今回講師として招かれた、認知症対応剤グループホーム等を手がけている、有限会社グッドライフの総合施設長を務める宮崎直人さんは「認知症になったらどうしようではなく、認知症になった時に安心して暮らせる町にするにはどうしたらよいかを考えましょう」と参加者が認知症について考えることができた、とても貴重な機会となりました。



美味しい食材を子ども達へ  
馬淵さんが米を寄贈



12月10日、豊永の馬淵太郎さんと悦子さんが教育長室を訪れ「自家畑で収穫したお米を児童生徒に食べてほしい」と精米（おぼろづき）60kgが贈られました。寄贈を受けた阿部博道教育長は「今年もたくさんのお米をいただきました。子ども達が地元のお米を食べれるというのは本当に幸せなことですね」とお礼を述べ、贈られた新鮮なお米は、14日と16日の給食で、安心安全で美味しいご飯となって子ども達に届けられました。

11月21日、新町の津別町ペレット協同組合（山上裕靖理事長）製造施設で、家庭用ペレットストーブの普及と利用拡大を目指し、木質ペレットストーブの展示販売と製造施設の見学会が行われました。

協同組合では、森林を整備することにより発生する未利用の森林資源を活用し、暖房エネルギーに利用できる木質ペレットの製造、販売を行っています。

会場では、ペレットバーベキューグリルを使った燃焼実演が行われ、木質の炎で焼きあがった焼き鳥とピザの試食が行われ、来場者から喜ばれていました。



木質ペレットストーブ  
展示販売と製造施設の見学会

第15回・津別町中央公民館「図書室まつり」が開催



11月21日、津別町中央公民館で、第15回図書室まつりが開催されました。

講堂で行われた「古本市」では、文庫本、新書本、児童書、実用書やCDなどが、10円から1000円格安で販売され、一人で数千冊購入する方もいて、多くの読書家や家族連れで賑わいました。

また、図書室クイズ（図書室、おりょうり教室（調理室）、おはなし会（和室）なども行われました。おはなしポケットのメンバーがレクチャーしてくれた「読み聞かせ講座」では、ちびっ子が真剣なまなざしで聞き入っていました。

12月7日、津別建設株式会社（蓮井和一代表取締役）が町長室を訪れ、地域貢献活動の一環として佐藤多一町長へ災害時の避難場所の標識の目録が贈られました。

今回寄贈された標識は、中央公民館、農業者トレーニングセンター、津別中学校、町民会館、商工会に設置され、避難場所の周知を図ります。

寄贈を受けた佐藤町長は「標識には避難場所の対象自治会の名前が入っており、この町の安心安全に役立ちます。ありがとうございます」とお礼が述べられました。



避難場所の周知  
津別建設が標識を寄贈